

今日も「丁あがり」

第29話

製造業の5Sを
次世代の農業経営者に伝授する!

の巻



皆さん、こんにちは！ 業務に混乱し、自暴自棄に陥り酒に逃げていくロボストス高垣でございます。今回はそんな腐っている僕が最近感動したことを紹介したいと思います。

皆さんは日本農業経営大学校をご存知ですか？ 今年2月に特別講師として僕を招いてくれました。講義を学校側にリクエストしてくれたのは20歳の女性でした。農家を志して東京農大に入学したものの、求めていた実践的な授業が少なく自主退学。妹と一緒に農業経営することを



写真1：ロボストスの社内を初公開!! 毎日「カイゼン」を繰り返して、機能的な職場になってきた



写真2：もらいもののパレットを梱包棚に改造。キャスターの取り付け方が自慢の一台



写真3：農協のカレンダーが見やすいので、毎年3つ頂いて3カ月先まで見通せるように並べて掲示



写真4：オリジナルスタンプによる省力化にハマリ、事務作業で特に記号化を進めている

夢見て、ここに入学したとか。交流は講義の後も続いていて、5人の学生が群馬に遊びに来てくれました。情熱あふれる若者がロボストスの仕事を支持してくれるのは何より励みになります。

学生の話聞けば「父親は42歳で若い。このままでは自分が匂を迎えても歯が立たないので、親が会ったことのない人、親が学んだことのない分野のことを学びたい」「新規就農だから普通にやっていたら農家の後継者には追いつけない。道具の使

い方や営農スタイルを工夫してよそがやらないチャレンジをしていく」など、とにかくアツいんですよ!!

受けた恩は次の世代に5倍返し

せっかく訪ねて来てくれたのだから、明日から役に立つ時間を過ごしてほしくて、製造業の5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を伝授することに。近頃強く感じている「工夫を重ねる人しかいい仕事はできない」という想いから、懇談テーマは「細かい工夫を積み重ねること」。マ



高垣達郎（たかがき・たつろう）
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に株式会社ロボストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。株式会社ロボストス代表取締役社長。

グネットフックの改造からガムテープの種類、文房具の整理に至るまで、僕が社内で徹底している細かすぎる業務効率の工夫を伝えました。

続いて、群馬県で唯一のマンゴー農家Y田くんの現場へ。彼は特別養護老人ホームの介護士だった頃に、レクリエーションの一環で、施設の

ペランダで鉢植え栽培を始めたところ、入居者は喜び、職員たちは盛り上がり、自身はハマり過ぎてガチで農業を始めてしまったという30歳。一反に満たないハウスで「ボックス栽培」という方法でマンゴーを作っています。害虫との農薬バトルに疲弊して、独自の「漢方農法」に活路を見出し、その道を探求中。生命力漲る彼のハウスに行くと、学生たちは声を上げて驚いていました。

それぞれ条件で、農家の数だけ農法や生き方があって——農業界、マジでおもしろくないですか？ 自力で耕作放棄地を開墾してゴマを生産している20代前半の女性に最近Facebookで知り合ったり、日本農業に新しい潮流を感じています。かつてお世話になった方々から受けた恩は次の世代に5倍返しするしかありません。酒の力を借りて日々の苦しみから逃避する生活をそろそろ卒業します（笑）。ということ！ 今月は0丁あがり〜〜